



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月14日

東

上場会社名 ウェルネス・コミュニケーションズ株式会社 上場取引所
コード番号 366A URL <https://wellcoms.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 松田 泰秀
問合せ先責任者（役職名） 取締役（氏名） 佐々木 雅之（TEL）03(5544)9898
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	7,520	6.5	610	22.0	589	17.5	404	16.3
2025年3月期中間期	7,060	—	499	—	501	—	347	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	69.23	67.78
2025年3月期中間期	63.76	—

- （注） 1. 当社は、2024年3月期中間期については中間財務諸表を作成していないため、2025年3月期中間期の対前年同中間期増減率については記載しておりません。
2. 2025年3月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。
3. 当社は、2025年6月23日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2026年3月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益は、新規上場日から2026年3月期中間期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		％
2026年3月期中間期	9,152		5,406		59.0
2025年3月期	5,182		3,457		66.6

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 5,400百万円 2025年3月期 3,451百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	42.75	42.75
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	42.77	42.77

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	14,790	5.2	1,239	11.7	1,213	10.1	855	10.2	141.78

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	6,227,600株	2025年3月期	5,448,200株
2026年3月期中間期	—株	2025年3月期	—株
2026年3月期中間期	5,836,815株	2025年3月期中間期	5,448,200株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等、将来に関する情報については、現時点で当社が入手している情報及び合理的であると判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおり、当社としてその現実を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要素により、これらの掲載されている情報と大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の4ページ「（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間貸借対照表	5
(2) 中間損益計算書	7
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間における我が国経済は、企業収益の改善を背景とする設備投資の底堅さや雇用・所得環境の改善等により、総じて緩やかに回復しております。一方、米国の通商政策の影響や物価上昇の継続による個人消費に及ぼす影響等、景気の下振れリスクには留意が必要であり、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社の対面市場におきましては、労働安全衛生法により従業員の健康診断や、結果の保管・報告、産業医の選定等が義務付けられており、企業のコーポレート・ウェルネスに関する法令対応が必要不可欠な市場環境となっております。それらの法令対応に加えて、企業経営における、働き手や働き方の多様化、ダイバーシティ推進への対応、デジタル化の推進等の観点からも健診ソリューション事業及び健康管理クラウド事業の需要が益々増加すると見込まれます。

このような状況下において、当社は、健診ソリューション事業及び健康管理クラウド事業における新規顧客の開拓や既存顧客との取引深耕に取り組みながら、健診ソリューション事業におけるオペレーションのDX・AXの推進、高付加価値化及び健康管理クラウド事業を起点としたコーポレートウェルネス・バリューチェーンの構築・推進を並行して進めております。

結果、当中間会計期間の売上高は7,520百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益は610百万円（前年同期比22.0%増）、経常利益は589百万円（前年同期比17.5%増）、中間純利益は404百万円（前年同期比16.3%増）となりました。

なお、2025年9月30日付で株式会社エスユーエスとの間で事業譲渡契約を締結しており、2025年12月31日付で同社が運営するSUZAKU事業を譲受することを予定しておりますが、当中間会計期間においては、当該事業譲受による業績への影響はございません。

セグメントごとの経営成績は以下の通りです。

（健診ソリューション事業）

健診ソリューション事業におきましては、労働安全衛生法に基づいて、従業員の健康管理・安全管理を行うことは、健康診断の実施・記録・届出に不可欠であります。それらに関する事務リソースを削減し、受診勧奨による健康診断受診率の向上や有所見者への事後措置の強化等を目指す企業が導入しております。また、当社オペレーションの生産性は、2023年6月にAI-OCR等を活用した情報処理方法及び独自開発した情報処理プログラムについての特許（特許7304604）を取得する等、生成AIを活用したシステム化等の投資に注力し向上を図っております。なお、健康診断は夏から秋にかけて受診のピークを迎えるため、それに伴う業績は第2四半期及び第3四半期に偏重する傾向にあります。この結果、当中間会計期間のサービス利用者数（※1）は、20.4万人となり、当事業の売上高は6,772百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益は232百万円（前年同期比68.2%増）となりました。

（健康管理クラウド事業）

企業内容等の開示に関する内閣府令等の改正により、サステナビリティ情報や人的資本情報の開示が義務化される等、企業は法令等への対応や社会的責任への対応による従業員の健康管理に関する環境整備や体制強化が求められており、大企業を中心に、より一層非財務情報の中核にある人的資本投資や健康経営の推進が重視されています。

健康管理クラウド事業におきましては、このような従業員の健康管理を戦略的な経営資源と捉える企業等からの受注が継続的に拡大しております。また、パートナーセールスの強化戦略による市場獲得の加速化もあり、当中間会計期間においては新たに21社の企業グループが利用を開始し、堅調な売上で推移いたしました。この結果、当事業の売上高は633百万円（前年同期比14.0%増）、営業利益は362百万円（前年同期比13.0%増）となりました。

（医療機関等支援事業）

医療機関等支援事業におきましては、主なサービスであるPET検査関連事業（※2）及び健康診断予約手配等を行うBPOサービスは、堅調に推移いたしました。また、医療従事者の働き方改革に向けた医療機関DX推進として、医療機関向けにGrowbaseを提供しております。この結果、当中間会計期間の売上高は114百万円（前年同期比22.7%減）、営業利益は15百万円（前年同期比63.1%減）となりました。

※1：サービス利用者数は、当社ネットワーク健康診断サービスを通じて健康診断を希望する日程・医療機関を受け付け、健康診断結果データの出荷まで完了した利用者の数です。前期まで客観的な指標として使用していた出荷数に代わり、当期からサービス利用者数を客観的な指標としております。なお、出荷数とサービス利用者数は同数になります。

※2：PET はがん等の病変を検査する画像診断法の一つである「陽電子放射断層撮影法」を表し、ポジトロン・エミッション・トモグラフィー(Positron Emission Tomography) の略です。

（2）当中間期の財政状態の概況

①資産・負債及び純資産の状況

（資産）

当中間会計期間末における資産合計は、9,152百万円となり、前事業年度末から3,970百万円増加となりました。流動資産の残高は7,918百万円となり、前事業年度末から3,963百万円増加となりました。

主な要因は東京証券取引所グロース市場への新規上場に伴う株式の発行等により現金及び預金が1,852百万円増加、健診ソリューション事業のサービス利用者数の増加等に伴い売掛金が1,776百万円、仕入の増加により商品が327百万円増加したことによるものであります。

（負債）

当中間会計期間末における負債合計は、3,746百万円となり、前事業年度末から2,021百万円増加となりました。流動負債の残高は3,689百万円となり、前事業年度末から2,020百万円増加となりました。

主な要因は健診ソリューション事業のサービス利用者数の増加による仕入により買掛金が2,050百万円、健診ソリューション事業の健康診断受診料及びGrowbaseの利用料の前受として契約負債が73百万円増加したことによるものであります。

（純資産）

当中間会計期間末における純資産合計は、5,406百万円となり、前事業年度末から1,948百万円増加となりました。

主な要因は東京証券取引所グロース市場への新規上場に伴う株式の発行及び新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ888百万円増加、期末配当により利益剰余金が232百万円減少した一方で、中間純利益を404百万円計上したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末から1,852百万円増加し、4,638百万円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により増加した資金は469百万円（前年同中間期は1,201百万円の増加）となりました。これは主に税引前中間純利益589百万円、減価償却費133百万円、健診ソリューション事業におけるサービス利用者数の増加による仕入債務の増加2,050百万円、Growbaseの利用料の前受として契約負債の増加73百万円を計上した一方で、健診ソリューション事業におけるサービス利用者数増加による売上債権1,776百万円、棚卸資産327百万円の増加、法人税等の支払189百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は140百万円（前年同中間期は136百万円の支出）となりました。これは主にシステム開発に伴う無形固定資産の取得85百万円、敷金及び保証金の差入の支出54百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によりした増加した資金は1,523百万円（前年同中間期は205百万円の減少）となりました。これは主に東京証券取引所グロース市場への新規上場に伴う株式の発行による収入1,757百万円と配当金の支払232百万円によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年6月23日に開示した業績予想に変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,786,458	4,638,911
売掛金	993,409	2,770,312
商品	54,305	381,587
その他	120,083	127,210
流動資産合計	3,954,256	7,918,022
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	264,970	257,341
工具、器具及び備品（純額）	66,690	59,747
有形固定資産合計	331,661	317,088
無形固定資産		
ソフトウェア	661,559	620,092
その他	122,268	130,275
無形固定資産合計	783,827	750,367
投資その他の資産		
差入保証金	87,731	141,892
その他	25,038	25,318
投資その他の資産合計	112,770	167,211
固定資産合計	1,228,259	1,234,667
資産合計	5,182,516	9,152,689

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	990,803	3,041,092
未払金	245,198	215,743
未払法人税等	206,674	207,281
契約負債	129,027	202,471
リース債務（短期）	213	—
役員賞与引当金	23,936	—
その他	72,810	22,634
流動負債合計	1,668,663	3,689,222
固定負債		
資産除去債務	43,816	43,909
役員退職慰労引当金	8,500	11,499
退職給付引当金	4,100	2,000
固定負債合計	56,416	57,409
負債合計	1,725,080	3,746,631
純資産の部		
株主資本		
資本金	408,615	1,297,345
資本剰余金	381,374	1,270,104
利益剰余金	2,661,665	2,832,825
株主資本合計	3,451,654	5,400,275
新株予約権	5,782	5,782
純資産合計	3,457,436	5,406,057
負債純資産合計	5,182,516	9,152,689

（2）中間損益計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
売上高	7,060,767	7,520,224
売上原価	5,720,235	6,075,292
売上総利益	1,340,532	1,444,931
販売費及び一般管理費	840,661	834,850
営業利益	499,871	610,081
営業外収益		
受取利息	0	13
雑収入	2,175	90
営業外収益合計	2,176	104
営業外費用		
支払利息	32	0
上場関連費用	—	9,519
株式交付費	—	11,060
その他	253	30
営業外費用合計	286	20,610
経常利益	501,761	589,574
税引前中間純利益	501,761	589,574
法人税、住民税及び事業税	154,386	185,749
法人税等調整額	8	△245
法人税等合計	154,395	185,503
中間純利益	347,366	404,070

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	501,761	589,574
減価償却費	125,229	133,168
受取利息	△0	△13
支払利息	32	0
株式交付費	—	11,060
上場関連費用	—	9,519
売上債権の増減額(△は増加)	△932,226	△1,776,903
棚卸資産の増減額(△は増加)	△245,023	△327,282
未収入金の増減額(△は増加)	25,983	24,362
仕入債務の増減額(△は減少)	1,931,368	2,050,288
契約負債の増減額(△は減少)	103,804	73,443
未払又は未収消費税等の増減額	△52,742	△45,678
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,460	△23,936
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,499	2,999
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△400	△2,100
その他	△79,428	△60,129
小計	1,368,398	658,373
利息及び配当金の受取額	0	13
利息の支払額	△32	△0
法人税等の支払額	△167,229	△189,182
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,201,137	469,204
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,199	△808
無形固定資産の取得による支出	△133,746	△85,609
敷金及び保証金の差入による支出	△30	△54,160
投資活動によるキャッシュ・フロー	△136,975	△140,578
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	—	1,757,016
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	9,385
上場関連費用の支出	—	△9,450
リース債務の返済による支出	△1,249	△213
配当金の支払額	△204,144	△232,910
財務活動によるキャッシュ・フロー	△205,393	1,523,827
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	858,768	1,852,452
現金及び現金同等物の期首残高	1,583,479	2,786,458
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,442,248	4,638,911

（４）中間財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

前中間会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	健診ソリューション 事業	健康管理クラウド 事業	医療機関等支援 事業	
売上高				
外部顧客への売上高	6,357,982	555,250	147,535	7,060,767
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	6,357,982	555,250	147,535	7,060,767
セグメント利益	138,162	320,984	40,724	499,871

（注）セグメント利益は、中間損益計算書の営業利益と一致しております。

当中間会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	健診ソリューション 事業	健康管理クラウド 事業	医療機関等支援 事業	
売上高				
外部顧客への売上高	6,772,934	633,173	114,116	7,520,224
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	6,772,934	633,173	114,116	7,520,224
セグメント利益	232,436	362,632	15,012	610,081

（注）セグメント利益は、中間損益計算書の営業利益と一致しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2025年6月23日付で東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。上場にあたり、2025年6月22日を払込期日とする一般募集増資による新株式550,000株の発行及び、2025年7月24日付けで第三者割当増資による新株式224,900株の発行により資本金及び資本準備金がそれぞれ884,005千円増加しております。

また、新株予約権の行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ4,725千円増加しております。

その結果、当中間会計期間末において、資本金が1,297,345千円、資本剰余金が1,270,104千円となっております。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。